

第2回 橋本市水道事業審議会議事要旨

日時：平成30年5月23日（水）14時～16時

場所：橋本市浄水場 会議室

1. 開会

- ・事務局より、今回審議会の傍聴者はいないことが報告された。

2. 会長挨拶

3. 施設見学

- ・橋本市浄水場の紹介ビデオを視聴した後、中央監視室、理化学試験室を見学した。

4. 議事

- ・事務局より、今回審議会の出席数は10名であり、委員の過半数を満たしており、審議会が成立することが報告された。
- ・審議会規程により、濱田会長が議長となり、以降の審議会を進行。
- ・議長より、議事録署名委員が選出された。浅田委員、藤田委員が選出された。
- ・事務局より、説明資料（1）の説明が行われた。
- ・討論・質疑が各委員よりなされた。概要は以下のとおり。

委 員：安全性についてですが、市民に水道水がいかに安全であることを示すことが重要ではないですか。小学生等に向けた浄水場見学を受け入れていますか。

事 務 局：受け入れています。

議 長：安全性の可視化ですね。

事 務 局：ホームページに水質が基準値を満たしていることなど、安全性を周知しています。

議 長：市販水と水道水の違いなどを理解してもらうのも大事だと考えます。

委 員：安全な水道水をどう示すかは難しいと思いますが、安全性の示し方で見解があれば教えてください。

事務局：原水では魚を使って原水に異常がないかを確認しています。浄水は塩素が入っていますので、魚を飼育できないため、魚に使った異常の確認ができません。このように魚を使った方法ですと原水での安全性はお示しできると考えています。また、市内の末端の蛇口では毎日2箇所塩素濃度等を確認し安全性を担保しています。

委員：広域連携については、具体的に動きはありますか。

事務局：現状では将来的に広域連携ができればという程度です。

委員：次回でも結構ですが、お答えいただける範囲で教えてください。

①旧ビジョンと新ビジョンの違い、②第5次拡張事業とビジョンの整合性、③ビジョンの中で、耐震化、老朽化対策、ダウンサイジングがキーワードになっていると感じましたが、これらは相互に関連しているものなのか、④目標指標のうち、料金回収率100%以上とは、⑤今後老朽化管路が増大するなかで、右岸送水管整備がなぜ重点施策なのか、⑥高野口地区の統廃合について、浄水場だけでなく送配水設備も合理化されるのか、⑦老朽化管路について、法定耐用年数のみではなく耐用年数を超えると事故が起こりやすくなるなどの年数以外の見解、⑧企業債の規模や償還条件。

事務局：料金回収率については前回資料P28で定義の説明がありますが、100%以上とは水道供給に係る経費を料金で回収できている状況のことです。それ以外については次回以降にお配りの資料等で説明させていただきます。

- ・事務局より、説明資料（2）～（5）の説明が行われた。
- ・討論・質疑が各委員よりなされた。概要は以下のとおり。

委員：料金体系について、基本水量が違うのみで、単価は一緒なのですか。

事務局：そうです。

委員：一般用（大口）はどのような需要者がいるのですか。

事務局：実際は一般用（大口）での契約はありません。

委員：工場など、たくさん使用している需要者はいるのですか。

事務局：病院や老人ホーム・介護施設で大口が多い状況で、工場について、大口はあるものの数は少ない状況です。大口使用者は料金改定に大きく関わるので次回にお示しします。

委員：10m³以内の比率も示してもらえますか。

事務局：次回にお示しします。

委員：料金比較の情報提供をさせていただきます。家庭用で月 20m³を使用した場合において、全国で最も料金が高いのは北海道夕張市の 6,841 円、最も料金が安いのは兵庫県赤穂市の 853 円です。また、橋本市と人口が同規模である 5 万人～10 万人においては、全国で最も料金が高いのは宮城県登米市の 5,256 円、最も料金が安いのは兵庫県高砂市の 1,436 円です。

委員：大滝ダムは橋本市の水道料金に関係あるのですか。

事務局：大滝ダムに関連する費用は料金で負担される仕組みです。

委員：水道料金のみを比較していますが、例えば標準的な家計収入に比較して水道料金が占める割合がどの程度なのかということも料金改定するには必要な情報なのではないでしょうか。

委員：人口減少率も料金収入には大きく影響するのではないのでしょうか。料金算定の際には橋本市の将来の人口減少率を考慮すべきと思います。

事務局：人口の減少については計画を立案した段階での最新値を参考にして予測をしております、人口減少は見込んでいます。

委員：人口減少に伴う働き手世代の減少などを考慮して、基本水量の設定など料金システムの設計を修正して、料金の改定を検討すべきと考えます。

委員：今回の審議会は何回を予定しているのですか。

事務局：当初は 6 回でしたが、議論も多岐にわたってきておりますので、回数を増やす予定です。

委員：料金課題に注力するのであれば、基本水量の設定や口径別の採用など、割と定型的な議論となり、比較的詰めやすいと思っています。しかし、ビジョンに掲げる広域化やダウンサイジングなどを議論するには相応の覚悟が必要ではないでしょうか。料金のあり方の問題と料金の前提となる問題がでてきており、どちらに力点を置くべきなのかを教えてください。

- 議 長：喫緊の課題は料金改定ですが、今回の審議会は事業審議会なので、事業を視野に入れて料金を検討しなければならないと考えています。この審議会では、ビジョンの中身もある程度理解し、承認いただいて、料金の検討をしていくべきと考えています。
- 事 務 局：事業の大方針であるビジョンがあって、それに基づいた具体的な料金の検討になるかと考えています。
- 委 員：水道事業としては、ハード面の今後のあり方、料金面の今後のあり方の両輪を検討すべきで、そうでないと水道事業は持続できないと考えています。このような中で、今回、料金の課題がでてきたと考えています。
- 事 務 局：おっしゃるとおりです。どこまでのリスクを許容し、どこまでの水道の水準をもとめるのかというところで、次回に具体的な数値を持ってご説明したいと考えています。
- 委 員：ビジョンに掲げる事業を実施するとして、橋本市の人口規模等を考慮して、料金収入がいくら必要という議論になるのでしょうか。
- 議 長：今回説明されていない箇所、いくつかのパターンに分けて水道料金の検討がされていますので、おっしゃるような方向性の議論になります。
- 委 員：A3の資料について、地図の管路の赤い部分が棒グラフの赤い部分に対応しているのですか。
- 事 務 局：そうです。
- 委 員：設備の資料では、赤色表示になっているもので、構造物では黄色となるような施設もあるのですか。
- 事 務 局：あります。設備と構造物では耐用年数が違いますので、例えばあやの台は設備では黄色表示ですが、構造物では青色表示になっています。
- 委 員：対象外となっているのはどういうことですか。
- 事 務 局：設備に関連する図では設備のないものや更新対象としているものを対象外と表現しています。

5. 閉会